

# 病名【 】経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる

# 様

経過	入院日	手術前日	手術当日前	手術当日後	手術後1日目	2日目	3日目～	退院前日	退院日		
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
治療・処置	リストバンドをつけます。 常用している薬がありましたら、お知らせください。入院中の内服薬を確認します。 	← 毎朝 8時30分～9時頃に回診があります。 →									
検査・測定	身長・体重を測定します。入院時に検温をします。			手術後に検温を必要時行います。	起床時採血します。1日3回検温します。	1日2回検温します。	1日1回検温をします。 →				
食事	昼食から食事ができます。食事の内容・形態・量など変更が可能ですので、ご相談下さい。	21時以降禁食です。 医師から経口補水の許可のある方は翌日指示された時間まで飲水ができます(別紙参照)		術室3時間後から飲水(水かお茶)ができます。	朝から食事が始まります。						
清潔	シャワーに入れます。	シャワーに入ってください。					お小水の管が抜けたらシャワーに入れます。				
排泄				手術後お小水の管が入ります。手術後3日間程度続きます。医師の判断で抜きます。							
活動	特に制限はありませんが、長時間病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			翌朝までベット上安静となります。	朝の採血後、歩行が可能となります。	病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。					
患者・家族の皆様への説明等	主治医より今回の入院の説明があり、承諾書をお渡しします。主治医・看護師より手術についての説明をします。 看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院のご案内にも同様の内容が記載されています。)手術に必要な物品を確認します。	麻酔科医師の診察の術前訪問があります。眠れない時は薬の用意があります。	手術の前に血栓予防の靴下を履き、排尿を済ませ病室でお待ちください。入れ歯、メガネ、指輪などははずしておいて下さい。術衣に着替えて手術室へ行きます。用意した物は手術室に持っていきます。手術当日の面会制限はありません。手術中、ご家族の方は4階手術室の家族控え室でお待ちください。	手術後、主治医より説明があります。(後日になる場合もあります。)手術後、痛みや苦痛があるときは、鎮痛薬の注射か坐薬を準備しています。我慢せずお知らせください。					お小水の管が抜けた後、排尿量と尿色をチェックするため蓄尿して頂きます。組織検査結果確認後(手術後6日目頃)、主治医より手術後の治療方針について説明があります。	退院後の日常生活の注意事項を説明します。	退院の手続きと、次回外来の説明をしますので、9時以降にナースステーションにお越しください。 入院のご案内の中にあるアンケートにご協力ください。
準備していただきたいもの											
・和式寝衣 1～2枚 ・T字帯 2～3枚 ・長方形の紙おむつ 2～3枚 (ニューソフラピレン)											

手術後の経過は、個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。

東京医療センター 3階A病棟 (改訂)2014/7/8)(No.50)

確認署名欄

説明者